

東京都の福祉保健行政への意見・要望等（自由意見）

東京都の福祉保健行政への意見や要望等について、自由に書いてもらったところ、398人（「特になし」は除く。）から要望や意見が寄せられた。

内容は極めて多岐にわたっており、紙面の都合上全てを掲載することはできないが、意見の趣旨を損なわないように配慮しながら意見をまとめ、掲載した。

主な意見・要望の内訳（単位＝件）

内 容	件 数
1 保健医療施策の充実	108
医療体制	37
患者受入体制	20
医療情報	19
医療人材	4
健康・検診	28
2 負担のあり方	62
医療保険	41
その他費用負担	21
3 保健医療・福祉施策の充実	42
高齢者	17
子供	4
医療・福祉一般	21
4 保健医療施策の広報	42
5 その他	165
都政一般	10
調査関係	119
その他	36
合 計	419

※ お一人で複数の内容についてご意見・要望を記入いただいた場合は、内容ごとに集計している。

主な要望・意見は以下のとおりである。

1 保健医療施策の充実

○ 医療体制

- ・ 小児科を増やして欲しい。又は、診療時間の延長（早く終わってしまう所が多い）。産婦人科が少なく、婦人科、産科共に受診するところに困っている。（40代女性）
- ・ 入院医療の3ヶ月でのたらい回しは止めてほしい。お金が無くて医療機関にかかれない人が沢山いるのでどうにかしてほしい。医療費をもう少し安くしてほしい。（70代男性）
- ・ 往診してくれる医師をもっと増やしてほしい。在宅看護を高齢になると、本人は希望するが、医師がいないのではどうすればよいか？（80代男性）
- ・ 専門病院が都心に集中しているので、できれば23区外にも高度医療の機関を増やしてほしいです。（40代女性）

○ 患者受入体制

- ・ この度大病を患ってみていかに大学病院にかかるのが大変な事かよくわかりました。かかりつけの先生の見解と紹介状が必要な事、来院してもすぐには診てもらえない事、そして3時間待って5分の診療、体調が悪くて行っているのにすっかり疲れてしまう事など体験しました。現代は余りにも病人が多いせいなのか先生をはじめスタッフの数が少ないせいでしょうか？（80代女性）
- ・ 土日祝日でも多くの病院や診療所が利用できるようになると良い。（40代男性）
- ・ 救急車で運ばれた時にたらい回しになったのは少ししづらかったです。今後は医療費も上がるのでしょうが、少しでも上がらないようにお願いします。（40代男性）
- ・ 時間外、休日などの緊急連絡先に問い合わせたことがありますが近くの病院ではなく、とても行けない（病人を連れて）ところでしたので改善できませんか？（半径5km以内）（50代男性）

○ 医療情報

- ・ 病名の分かっている病気のことは調べようがあるが、全身的慢性的不調をきちんと診断、相談できるところが少なすぎる。がんよりそちらをなんとかしてもらいたい。（40代女性）
- ・ PC やスマホを利用して情報を得ることがすべてにおいて主流になってしまいましたが、それができない人もいて欲しい。医療機関が細分化されて、体の具合が悪くなった時、どこへ行けばいいのかと悩んでしまいます。相談窓口があれば教えてください。なければ、作って頂きたいです。病院の先生の得意な分野（例えば「ぜん息」が得意）などを知りたいです。（60代女性）

○ 医療人材

- ・ 医師に新しい知識を教育したり、義務付けして欲しい。一度資格を取れば永遠に医師でいられるというのは医学が進歩している中で異常。都や国は医師会の権益擁護を優先しないで、都民・国民第一で進んで欲しい。(70代男性)

○ 健康・検診

- ・ 健診を強制力のあるものとしていただけると、職場の理解も得やすくなります。(30代女性)
- ・ がん検診を一度に受けられるようにしてほしい。検診ごとに医療機関が異なり一度に受けられないのは非常に面倒。仕事もそんなに休めない。以前住んでいた自治体では一つの医療機関で全ての検診を一度に受けることができた。そうしないと受診率の低下につながると思う。(40代女性)
- ・ 健康診断の公的サービスは中年齢以上に偏っていて10代、20代はまったく考えられていません。予防医療の必要性も含め、10代からの健康診断補助システムを作ってほしいです。(50代女性)
- ・ 日曜日、祝日の健診を充実してほしい！平日では仕事で忙しいため、行きたくても行けない状況。お願いします。(30代男性)

2 負担のあり方

○ 医療保険

- ・ だれでも医療費の心配がない(又は少ない)医療を受けられるようにしてもらいたい。(40代女性)
- ・ 医療費をもっと安くして欲しい。初診料も高いので少し具合が悪い程度では病院に行くのをやめてしまう。本当は受診したい場合もある。(30代女性)
- ・ 年金者の高額医療費は生活への負担が大きく少しでも安く願う。(70代女性)

○ その他費用負担

- ・ 子育て世代にとって乳幼児医療費助成制度は大変助かっていますが、適切な制度運用の確保がなされているか気がかりです(不要な診療の増加等による医療費増加)。適切な運用によって制度が続く事を望みます。(30代男性)
- ・ 子供の医療とかは所得関係なしで出してほしい。障害児に対しても所得制限なくしてもっとケアしてほしい。(40代男性)

3 保健医療・福祉施策の充実

○ 高齢者

- ・ 特別養護老人ホームの入居基準がますます厳しくなっている。在宅介護の負担が重い。介護にしばられて仕事に影響する。(50代男性)
- ・ 高齢者の在宅介護には限度があると思います。介護の為に仕事をやめたり、若い人で就職できない人がいます。経済的にも困難な状態になる可能性がありますし、老老介護には体力的に無理があると思います。(60代女性)
- ・ 住み慣れた自宅で安心して暮らしていきたい。(50代男性)

○ 子供

- ・ 子どもの時間外診療を受けられる施設の拡充。産科の待ち時間の短縮、産科医、小児科医の増員。(30代男性)

○ 医療・福祉一般

- ・ あちこちにあるAEDの使い方がわからないので分かるようにしてほしい。(40代女性)
- ・ 手話の出来る人がいてほしい(増やしてほしい)。(50代女性)

4 保健医療施策の広報

- ・ 都のホームページなど見づらくわかりづらい。行政側が「やりやすい」のではなく利用する側が「わかりやすい」でないと使えない。一度、一般の人数名に利用してもらい「何が」「どう使用できない」のか理解してから直してください。文章は「カンタン」に「わかりやすく」なければ意味がありません。(40代女性)
- ・ 今回のアンケートを受けて、都の相談窓口が複数あることを知りました。メディアなどを活用して周知がすすむと利用し易くなるのではないかと考えました。(30代女性)
- ・ 保健医療施策について、初めて目にする言葉がありました。自分が関与しないことだからなのかもしれないが周知活動を広げていってたくさんの方にいろんなことを知ることができるようになれば・・・と思う。(40代男性)
- ・ 保健医療施策について、ほとんど聞いたことがないことに今回気がついた。新聞、雑誌、テレビなどで健康に関する情報には関心を持って注意を払っているつもりだが、それでもこの状態であり、たとえば「ひまわり」などというものがあることさえ知り得なかったが、どうすればもっと簡単に知ることができるのか、そのきっかけさえ今の状態ではわからない。(70代男性)

5 その他

○ 調査関係

- ・ このような調査はネットで回答できるようにすべき。(30代男性)
- ・ 今回の調査が集計されどのような形で今後の医療に反映されていくのかが分からない。定期的に調査が行われていたと思うが活かされているのか。(50代女性)
- ・ 今回アンケートに答えてみて、都の取り組みや制度について知らないことが多いことが分かった。また、いざというときの相談先などもわかっていないため、冊子などで配られているなど最低限の情報が手元にあるとありがたいです。また、働いてはいるが一人暮らしの場合、近所との接点もあまりなく、いざという時の対応は自己解決となり不安も多い為、そのためにも情報やサポートが受けられる体制などがあると助かります。(40代女性)
- ・ 基礎資料になる事はありがたいが、けっこう時間がかかる調査でした。(70代女性)
- ・ アンケートへの回答はもっと手軽に行いたい(インターネットを使用するなど)。時間をかけずに答えたい(考え込む問いが多いので少なくして欲しい)。日常生活内でもっと知識を学ぶ機会を増やして欲しい。(20代男性)
- ・ こんな量の多いアンケートは初めてです。もっと簡潔に出来ないものですか？(60代男性)
- ・ このアンケート、難しすぎると思います。情報量も詰め込みすぎです。年度によって収集する情報を限定してみたらどうでしょうか？(40代男性)

○ その他

- ・ 高齢者にとって一番の難問はカタカナで表示されていることです。日本語で具体的に表現していただくとありがたいと思います。(70代女性)